



Test-4-X

www.test-4-x.com/securities

Canada • Canada CIRE

CIRE

Study Guide

KNOWLEDGE POINTS

203

CHAPTERS

15

EDITION

2026-10-18

Disclaimer

This study guide is compiled from official government handbooks and other publicly available sources, for educational purposes only. It is intended to help you study and prepare; it does not constitute legal or professional advice.

Rules and regulations change. Always refer to the official handbook published by your licensing authority for the most current and authoritative information. The publisher assumes no liability for any decision made on the basis of this material.

This publication is independent. It is not affiliated with, endorsed by, or sponsored by any licensing or examining authority. All trademarks are the property of their respective owners.

Edition 2026-10-18 • 203 knowledge points • 15 chapters

Spotted an error, or have a question about this guide?

support@test-4-x.com

Contents

01	Element 1: Know-Your-Client (KYC) & suitability	1
02	How should I study for the Retail Securities Exam?	9
03	How do I self-study?	10
04	Element 2: Fixed income	13
05	If I use a preparatory provider, what does a good one look like?	16
06	Element 3: Equities	19
07	Element 4: Securities analysis	22
08	Should I use a preparatory provider or self-study?	27
09	Where can I get additional support to study for the Retail Securities Exam?	29
10	Element 5: Managed products and other investments	32
11	Element 6: Portfolio construction	38
12	Academic or topical learning programs	42
13	Element 7: Investment recommendations	43
14	Element 8: Execution and market integrity	47
15	Element 9: Monitoring, reporting and maintaining client relationships	50

CHAPTER 1

Element 1: Know-Your-Client (KYC) & suitability

1.1 企業と顧客の関係における主要な側面

登録代理人（Registered Representative）と顧客間の基本的な関係をカバーします。国境を越えた考慮事項を含みます。

- ✓ 顧客関係モデル
- ✓ 信頼、代理権および利益相反の概念
- ✓ 米国および他の該当する外国管轄区域に居住する顧客、スノーボード等を含む顧客との取引手続きおよび要件
- ✓ 居住地変更に関する考慮事項

1.2 KYC情報の重要性と必要な内容

KYC義務を履行するために必要なクライアント情報の範囲を説明しています。

- ✓ 財務状況: 収入、流動性ニーズ、金融資産、負債、純資産、クライアントの投資のための借入の有無
- ✓ 個人的な状況
- ✓ 投資知識
- ✓ リスク プロフィール
- ✓ 投資目標およびニーズ
- ✓ 投資制約および制限(EDI、ESG、およびその他の個人的な選好を含む)
- ✓ 投資時間軸

1.3 顧客のリスク・プロファイル評価プロセス

顧客のリスク許容度、リスク受容能力およびリスク必要性の包括的な評価をカバーします。

- ✓ 顧客のリスク受け入れ意欲またはリスク許容度(行動面を含む)
- ✓ 顧客の経済的損失に耐える能力またはリスク受容能力
- ✓ 顧客の目標達成に必要なリスクの程度またはリスク必要性
- ✓ 顧客の期待とリスク・プロファイル間の相違を解決する

1.4 事業形態の種類と投資機会

様々な事業形態と、それらが投資機会にどのような影響を与えるかについて説明します。

- ✓ 個人事業主
- ✓ パートナーシップ
- ✓ 法人（私募対公開）
- ✓ 協同組合

1.5 顧客との協議の記録

顧客との協議を正確に記録し、顧客がその正確性を確認する必要性について扱います。

1.6 信頼できる連絡先の要件

特定のシナリオに対する信頼できる連絡先の要件の適用について説明します。

- ✓ 信頼できる連絡先を確立する方法
- ✓ これが許可するもの、許可しないもの
- ✓ 顧客が信頼できる連絡先の提供を拒否した場合の対応
- ✓ 信頼できる連絡先に連絡する時期
- ✓ 潜在的な行為能力の懸念を認識する方法
- ✓ 金融搾取の問題を認識する方法
- ✓ 一時的な保留を使用する条件
- ✓ 協議内容を記録する

1.7 第一次責任およびKYCの最新化維持

第一次責任、KYC委譲の禁止、およびKYCを最新の状態に保つ義務について扱います。

1.8 顧客口座記録および収集情報の種類

顧客口座記録および収集された情報の種類について説明します。

- ✓ 本人確認
- ✓ 口座適合性評価
- ✓ KYC情報
- ✓ 開示の確認
- ✓ 信頼できる連絡先者の拒否記録

1.9 口座適切性義務

特定のシナリオに対する口座適切性義務の適用をカバーしています。

1.10 様々なアカウントタイプの主な特徴

アカウント機能、利点および欠点をクライアントの要件に合わせるについて説明します。

- ✓ アドバイザリー（非管理）アカウント – 手数料ベース及び手数料ベース
- ✓ 管理アカウント
- ✓ 裁量アカウント
- ✓ 現金アカウント対マージンアカウント

1.11 口座関連書類および収集情報

口座開設に関連する書類および収集された情報を扱います。

- ✓ 投資ディーラーのビジネスモデル
- ✓ 顧客との関係
- ✓ 投資ディーラーが提供する投資商品およびサービス
- ✓ 複数の口座に対して1つのKYC情報を収集する条件

1.12 関係開示文書の目的および内容

関係開示文書の目的および必須要素について扱います。

- ✓ 目的
- ✓ 提供頻度
- ✓ 形式およびフォーマット
- ✓ 内容
- ✓ 審査

1.13 機密情報の隔離

投資ディーラー内における機密情報の保護の重要性をカバーしています。

- ✓ 情報障壁とファイアウォール
- ✓ グレーリストと制限リスト
- ✓ 投資銀行業務、調査部門および企業ファイナンスの役割
- ✓ サイバーセキュリティ
- ✓ プライバシー

1.14 投資ディーラーのウェルカムパッケージに必要な書類

ウェルカムパッケージでクライアントに提供される書類の目的をカバーします。

- ✓ 手数料スケジュール
- ✓ CIROパンフレット（CIRO苦情パンフレット、CIROがどのように投資家を保護するか、投資口座の開設）
- ✓ カナダ投資家保護基金
- ✓ デリバティブリスク開示
- ✓ 投資ディーラーの利益相反開示
- ✓ 投資ディーラーの苦情処理手続

1.15 商品デューデリジェンス義務

ディーラーおよび承認人による商品デューデリジェンス義務をカバーしています。

- ✓ 投資ディーラー
- ✓ 承認人

1.16 顧客商品理解(KYP)義務

購入、売却、または推奨されるすべての投資商品に対する顧客商品理解義務の適用を扱います。

- ✓ 構造
- ✓ 特徴（初期および継続的成本）
- ✓ リスク（コストの影響）

1.17 リテール顧客の適合性判定要件

特定の状況におけるKYC及び適合性判定要件の適用について扱います。

- ✓ KYCと推奨事項との関係
- ✓ 過度な切替え(チャーン)を回避する必要性

1.18 未請求または不適切な顧客指示

顧客指示が未請求または不適切である場合の義務をカバーします。

1.19 顧客口座に対する投資行動の種類

特定の状況に投資行動の種類を適用することをカバーしています。

- ✓ 購入
- ✓ 売却
- ✓ ポジション保有
- ✓ 預金
- ✓ 証券の交換または譲渡

1.20 口座の適切性対適合性判断

口座の適切性と適合性判断の違いについて説明します。

1.21 口座の監視と維持管理

トリガーイベントを含む、口座の監視と維持管理に関するディーラーおよび規制上の要件をカバーしています。

1.22 適合性判定に対する変化の影響

顧客のポートフォリオに対する適合性に影響を与える関連する変化の分析をカバーしています。

- ✓ 顧客の状況の重要な変化
- ✓ 商品および市場調査
- ✓ 経済的、政治的および社会的事象
- ✓ 新興問題、金融トレンド、経済トレンド、および世界ニュース

1.23 顧客の最善の利益のための利益相反の管理

利益相反を管理するための規制要件をカバーしています。

- ✓ 特定
- ✓ 回避
- ✓ 対処
- ✓ 開示

1.24 対外活動に関する要件

特定の状況における対外活動に関する要件について説明します。

- ✓ 定義
- ✓ 事前承認
- ✓ 開示

1.25 顧客との個人的な金融取引

顧客との個人的な金融取引に関する要件を扱います。

- ✓ 対価の受領、和解契約、借入/貸付、支配または権限、資産の混合に関する禁止および措置
- ✓ 事業パートナーシップ
- ✓ 投資クラブ

1.26 利益相反の管理に関するディーラー方針

利益相反の管理に関するディーラー方針および手順の適用について説明します。

- ✓ 効果的な統制と適格監視
- ✓ 承認のための適用可能なデューディリジェンス手続
- ✓ 適切な記録保管

1.27 CIRO行為基準

代理人、クライアント及び企業に関わる状況へのCIRO行為基準の適用について説明します。

1.28 顧客のリスク・プロファイル評価のための徹底的なプロセス

意欲、能力、およびリスク必要性を通じて顧客のリスク・プロファイルを評価する方法を検討します。

- ✓ 行動的側面を含むリスクを受け入れる顧客の意欲またはリスク許容度
- ✓ 金銭的損失またはリスク容量に耐える顧客の能力
- ✓ 顧客の目標を達成するために必要なリスク量またはリスク必要性
- ✓ 顧客の期待とリスク・プロファイル間の矛盾の解決

1.29 事業形態の種類と投資機会への影響

異なる事業形態と投資機会への影響をカバーしています。

- ✓ 個人事業主 (Sole Proprietorship)
- ✓ パートナーシップ (Partnership)
- ✓ 法人 (私企業対公開企業)
- ✓ 協同組合 (Co-operative)

1.30 信頼できる連絡先担当者に関する要件

設定、権限、および使用を含むシナリオに信頼できる連絡先担当者の要件を適用します。

- ✓ 信頼できる連絡先担当者を設定する方法
- ✓ これが許可するもの、および許可しないもの
- ✓ 顧客が信頼できる連絡先担当者の提供を拒否した場合の措置
- ✓ 信頼できる連絡先担当者に連絡する時期
- ✓ 潜在的な行為能力の問題を認識する方法
- ✓ 金融搾取の問題を認識する方法
- ✓ 一時的な保留を使用するための条件
- ✓ 協議内容を文書化する

1.31 一次責任とKYC通貨義務

KYC委任の禁止およびKYC情報を最新の状態に保つ義務について説明します。

1.32 シナリオに適用される口座適合性義務

特定の状況に口座適合性義務を適用します。

1.33 様々な口座タイプの主要特性

口座タイプの利点と欠点を顧客要件に適用します。

- ✓ アドバイザリー（非管理型）口座 – 手数料ベースおよび委託手数料ベース
- ✓ 管理口座
- ✓ 裁量口座
- ✓ キャッシュ口座対マージン口座

1.34 口座関連文書および開設プロセス

口座開設に関連する文書と、ディーラーの事業モデルに関連して収集された情報をカバーします。

- ✓ 投資ディーラーの事業モデル
- ✓ クライアントとの関係
- ✓ 投資ディーラーが提供する投資商品およびサービス
- ✓ 複数の口座に対して同じKYC情報セットを収集する条件

1.35 ウェルカムパッケージに含まれる必須書類

投資ディーラーのウェルカムパッケージに含まれる書類の目的をカバーします。

- ✓ 手数料表
- ✓ CIROパンフレット（苦情申立てパンフレット、CIROが投資家を保護する方法、投資口座の開設）
- ✓ カナダ投資家保護基金
- ✓ デリバティブリスク開示
- ✓ 投資ディーラーの利益相反開示
- ✓ 投資ディーラー苦情処理手続き

1.36 勧誘されていない、または不適切な指示に関する義務

指示が勧誘されていない、または不適切である場合の登録代理人（Registered Representative）およびディーラー（Dealer）の義務をカバーしています。

1.37 口座のモニタリング及び維持要件

口座のモニタリング及びトリガーイベントに関するディーラー及び規制要件を分析します。

1.38 顧客の最善の利益のための利益相反の管理

特定の状況に対して利益相反の管理に関する規制要件を適用します。

- ✓ 識別
- ✓ 回避
- ✓ 対処
- ✓ 開示

1.39 状況に適用されるCIRO行動基準

登録代理人とその顧客または会社に関わる状況にCIRO行動基準を適用します。

CHAPTER 2

How should I study for the Retail Securities Exam?

2.1 CIRO専門性モデルおよびオープンアクセス

試験青写真は、CIRO専門性モデルに従っており、試験で扱われるすべての情報はウェブサイト、規制ルールブック、および国家または地域の法律で自由に利用できることを説明しています。

- ✓ CIROは統合学習書を発行していません
- ✓ サンプル学習リソースはこのドキュメント内の後半に記載されています
- ✓ 記載されている資料は提案であり、推奨や認定ではありません

2.2 自己学習または準備提供者の選択

受験者は自己学習を選択するか、準備コース提供者を利用することができ、受験者の学習スタイル、時間、および経験に最適な学習経路を選択することは受験者の責任です。

- ✓ CIROはこれらの方法を使用して合格を保証しません
- ✓ リソースがCIRO情報と矛盾する場合は、CIRO情報を参照してください

2.3 適格性試験への公開アクセス

CIRO適格性モデルは、適格性試験への公開アクセスを可能にし、すべてのテスト対象情報がウェブサイト、規制規則書、および国家または地域の法律で自由にできるようにします。

- ✓ CIROは適格性試験用の統合学習書を作成していません
- ✓ 関連する学習リソースのサンプルは本ガイドに記載されています

2.4 自習と試験準備プロバイダーの選択

受験者は自習を選択するか、試験準備コースプロバイダーを利用するかを選択でき、自分の学習スタイル、時間的余裕、および経験に最も適した学習経路を選ぶことができます。

- ✓ CIROはいかなる方法を使用しても合格を保証しません
- ✓ 記載されているリソースは提案であり、CIROによって認可または認定されていません

2.5 CIRO情報との不一致の解決

CIRO提供情報と外部資料との間に不一致がある場合、受験者はCIRO情報を優先すべきです。

- ✓ 不一致がある場合は、CIRO関連規則、ガイダンス、およびシラバスを参照してください

CHAPTER 3

How do I self-study?

3.1 試験シラバスの習熟

出発点は試験シラバスです。これは、取り扱う主題と副主題を概説し、学習時間を優先順位付けする公式なロードマップです。

- ✓ シラバスは試験範囲として扱われる可能性のある公式リストです
- ✓ シラバスに明示的に記載されていない主題は試験範囲に含まれません
- ✓ 提供者を使用する場合でも、シラバスの習熟が重要です

3.2 戦略的自己学習ステップバイステップアプローチ

ブループリントは、シラバスの学習成果のみを使用して学習する戦略的アプローチを、一連のステップに構造化したものです。

- ✓ 範囲を理解する
- ✓ 学習スケジュールを作成する
- ✓ 主要概念を特定する
- ✓ 補足教材を使用する
- ✓ 模擬試験を活用する
- ✓ アクティブラーニング技法を採用する
- ✓ 定期的な自己評価を実施する
- ✓ 学習グループに参加する
- ✓ 最新情報を保つ

3.3 学習成果の範囲を理解する

学習成果のリストを確認して、試験内容の幅と深さを把握し、関連する成果を学習計画に整理します。

- ✓ 学習成果の幅と深さについて慎重に検討します
- ✓ 分類法が示す問題の種類を理解します（例：記憶または理解）
- ✓ 類似または関連する成果をまとめてグループ化します

3.4 学習スケジュールの作成

学習成果にわたって学習時間を配分し、問題加重を使用して現実的な目標を設定し、復習と練習を含めます。

- ✓ 各学習成果に特定の時間を配分する
- ✓ 問題加重を使用する（例：問題あたり1時間）
- ✓ 復習と練習を可能にする現実的な目標を設定する

3.5 主要概念の特定

各学習成果に対して習得すべき主要概念と用語を正確に特定し、必要な知識を整理します。

- ✓ 成果ごとの主要概念および用語の特定
- ✓ 迅速な参照のための主要ポイントリストの作成
- ✓ 主要ポイントのマインドマップの作成

3.6 補足資料の活用

教科書、オンライン資料、業界出版物、同僚を通じた理解の深化。非規制コンテンツについては大学の講座読書リストを含む

- ✓ 教科書、オンライン資料、業界出版物、同僚を活用する
- ✓ 非規制金融市場コンテンツについては大学の読書リストが有用である

3.7 実践模擬試験の活用

模擬試験を試験対策の進捗度とペース配分の代表的なベンチマークとして活用し、開始段階では非公式に、準備が整ったら公式に実施します。

- ✓ 模擬試験は能力試験の問題タイプと範囲の広さを代表しています
- ✓ 特定の問題を丸暗記したり、自学習完了前に試験を受けたりすることは避けてください
- ✓ 最初は非公式に活用し、準備ができたなら公式に実施してください

3.8 能動的な学習技法の活用

要約、マインドマップ、フラッシュカード、ピアディスカッション、他者への教授など、能動的な方法を通じて理解を強化します。

- ✓ 情報を自分の言葉で要約する
- ✓ マインドマップを作成し、フラッシュカードを活用する
- ✓ 他の人に学習内容を教える

3.9 定期的な自己評価の実施

各学習成果に対する理解度と知識の保持を定期的にテストし、弱い領域に向けて学習計画を調整します。

- ✓ 各成果について定期的に自分自身をテストします
- ✓ リストとマインドマップを使用して評価します
- ✓ 弱い領域に焦点を当てるよう学習計画を調整します

3.10 スタディグループに参加する

学習成果を議論し、他の受験者とリソースを共有するために、スタディグループまたはオンラインフォーラムへの参加を検討します。

- ✓ 成果を議論し、リソースを共有するためにスタディグループまたはオンラインフォーラムに参加します

3.11 業界の最新情報を常に把握する

投資業界の更新または変更について常に最新の情報を得て、試験に影響を与える可能性のある内容を追跡する。

- ✓ 投資業界の更新または変更について常に最新の情報を把握し、試験に影響を与える内容に対応する

CHAPTER 4

Element 2: Fixed income

4.1 債務市場の規制要件

公正で効率的な債務市場を促進するための要件を対象とします。

- ✓ 公正で効率的な債務市場を促進するための一般的な要件
- ✓ 方針と手順 - 要件と内容
- ✓ 禁止慣行 - 投資ディーラーと承認人の義務

4.2 固定利益商品の種類と特徴

様々な固定利益商品の種類と特徴をカバーしています。

- ✓ カナダ政府証券
- ✓ 州および地方自治体証券
- ✓ 社債
- ✓ 保証付き投資証明書（GIC）

4.3 固定利付商品の用語

特定の状況に対する固定利付用語の適用について説明します。

- ✓ 額面価値
- ✓ クーポンレート
- ✓ 満期日
- ✓ 満期までの期間
- ✓ 債券価格
- ✓ 満期利回り
- ✓ 決済
- ✓ 約定条項

4.4 債券商品の特性

投資家および発行者向けの債券商品特性の分析をカバーしています。

- ✓ 投資家にとっての利点および不利点
- ✓ 発行者にとっての利点および不利点
- ✓ リスク源泉および潜在的リターン
- ✓ 債券商品の取得および保有に関連する費用の影響

4.5 リスク・リターン・プロファイルに影響を与える商品特性

固定利付商品のリスク・リターン・プロファイルに影響を与える特性および条件をカバーしています。

- ✓ ストリップス (Strips)
- ✓ 変動金利 (Floating rate)
- ✓ コーラブル/プッタブル (Callable/Puttable)
- ✓ 転換社債 (Convertible)
- ✓ 延長可能債 (Extendable)
- ✓ シンキングファンド/購入ファンド (Sinking/Purchase funds)

4.6 債券利回りの標準計算

債券に対する標準利回り計算の適用について説明します。

- ✓ インカム（または現在）利回り
- ✓ （近似）満期利回り
- ✓ ゼロクーポン商品の利回り
- ✓ 利回り曲線

4.7 債券変数間の関係

特定の状況におけるクーポン、利回り、満期、価格およびデュレーション間の関係をカバーします。

- ✓ クーポン、利回り、残存期間および価格変動性
- ✓ マコーレー・デュレーション、修正デュレーションおよび価格感応度
- ✓ 経済要因の変化と固定利付商品の価格

4.8 修正デュレーション計算

修正デュレーションを適用して、与えられた利回り変化に対する債券価格変化を評価する方法をカバーします。

4.9 投資計算における貨幣の時間価値

固定利付証券計算に貨幣の時間価値を適用することを扱います。

- ✓ 額面、クーポンレート、満期までの期間および割引率が与えられた場合の固定利付証券の現在価値の計算
- ✓ 貨幣の時間価値計算における欠落変数の計算

4.10 リスク・リターン・プロファイルに影響を与える商品

商品の特性およびリスク・リターン・プロファイルに影響を与える条件を対象としています。

- ✓ ストリップス(Strips)
- ✓ 変動金利(Floating rate)
- ✓ コーラブル・プッタブル(Callable/puttable)
- ✓ 転換社債(Convertible)
- ✓ 延長可能(Extendable)
- ✓ シンキング・ファンド/購入ファンド(Sinking/purchase funds)

4.11 債券要因間の関係

クーポン、イールド、満期、価格ボラティリティおよびデュレーション間の関係を適用します。

- ✓ クーポン、イールド、満期までの期間および価格ボラティリティ
- ✓ マコーレー・デュレーション、修正デュレーションおよび価格感応度
- ✓ 経済要因の変化および債券型商品の価格

4.12 投資計算への貨幣の時間価値の適用

貨幣の時間価値を債券計算に適用します。

- ✓ 額面、クーポンレート、満期までの期間および割引率が与えられた場合の現在価値の計算
- ✓ 貨幣の時間価値計算における欠落変数の計算

CHAPTER 5

If I use a preparatory provider, what does a good one look like?

5.1 準備プロバイダー選択時の主要要因

ブループリントは、準備プロバイダーが試験準備に適しているかどうかを評価する際に検討すべき要因を列挙しています。

- ✓ 評判とレビュー
- ✓ 認定と資格
- ✓ 包括的な学習教材
- ✓ 構造化された学習計画
- ✓ 柔軟性とアクセス可能性
- ✓ 模擬試験と評価
- ✓ 学生サポート
- ✓ 費用と価値
- ✓ トライアルオプション

5.2 評判とレビュー

評判と独立したレビューを通じて、試験準備提供者の投資業界における地位を評価します。

- ✓ 投資業界における確実な評判を探してください
- ✓ 独立したウェブサイトのレビューと推薦文を確認してください

5.3 認定および認証資格

プロバイダーの認定を確認し、講師の適格性を確認します。

- ✓ 関連機関による認定の確認
- ✓ 講師の資格および経験の確認

5.4 包括的な学習教材

提供者がすべての試験学習成果をカバーする最新の教材を、さまざまなリソースタイプとともに提供していることを確認します。

- ✓ すべての学習成果をカバーする包括的で最新の教材
- ✓ 教科書、オンラインモジュール、練習試験、インタラクティブツールなどの多様なリソース

5.5 構造化された学習計画

試験スケジュールに合わせた構造化された計画を探しており、教材の使用方法和時間管理に関するガイダンスを求めています。

- ✓ 試験スケジュールに合わせた構造化された計画
- ✓ 教材の使用方法和学習時間管理に関するガイダンス

5.6 柔軟性とアクセシビリティ

柔軟な配信オプション、プラットフォームの使いやすさ、デバイスおよびモバイルアクセス、および学習教材へのアクセス期間を考慮します。

- ✓ オンラインコース、ライブウェビナー、オンデマンドビデオなどの柔軟なオプション
- ✓ 様々なデバイスでアクセス可能なユーザーフレンドリーなプラットフォーム
- ✓ モバイルアプリのアクセス
- ✓ あなたのスケジュールに対する学習教材へのアクセス期間の検討

5.7 模擬試験と評価

実際の試験形式を模倣した十分な模擬試験と、間違いに対する詳細なフィードバックを提供します。

- ✓ 実際の試験形式を模倣した十分な模擬試験
- ✓ 模擬試験問題に対する詳細なフィードバックと説明

5.8 学生サポート

講師およびピアとのインタラクションのためのサポートサービスの利用可能性とカスタマーサポートの品質を確認する

- ✓ チュータリング、スタディグループ、ヘルプデスク、フォーラムなどのサポートサービス
- ✓ 技術的または行政上の問題に対するカスタマーサポートの品質

5.9 コストと価値

提供者間でコストおよびパッケージ内容を比較し、教材、サポート、合格率に関連する全体的な価値を評価します。

- ✓ 提供者間でコストおよびパッケージ内容を比較する
- ✓ 教材、サポート、合格率を含めた価値を評価する

5.10 試用オプション

無料試用またはサンプル資料を活用して、品質、多様性、および適合性を評価します。

- ✓ 無料試用またはサンプル資料を使用して、品質と適合性を評価します

CHAPTER 6

Element 3: Equities

6.1 目論見書の要件と適用除外

目論見書の要件と目的、および国家規則に基づく適用除外が適用される場合について説明します。

- ✓ 一次及び二次配分への適用
- ✓ 買収への適用
- ✓ 包括的な開示
- ✓ 広告及びマーケティング
- ✓ 適時開示要件
- ✓ 適用除外市場証券
- ✓ プライベート・プレースメント
- ✓ 適格投資家

6.2 普通株式の種類および主要特性

普通株式の分類および特性をカバーしています。

- ✓ 配当金請求権
- ✓ 議決権
- ✓ 解散時の剰余資産に対する請求権

6.3 カナダ預託証券(CDRs)

カナダ預託証券の種類と主要な特徴について説明します。

- ✓ 保有者の権利
- ✓ CDR比率

6.4 普通株式および預託証券の特性

普通株式および預託証券の異なるクラスへの投資分析をカバーしています。

- ✓ リスクの源泉と潜在的リターン
- ✓ 普通株式および預託証券の取得および保有に関連する費用の影響

6.5 普通株式所有権の特徴

普通株式所有権の利点と欠点の分析をカバーしています。

- ✓ 普通株式所有権の利点と欠点
- ✓ 普通株式発行者にとっての利点と欠点

6.6 株主に影響を与える企業行為

企業行為が株主の地位にどのような影響を与えるかについて説明します。

- ✓ 配当金がどのように宣言、請求、および課税されるか
- ✓ 株式分割および統合の影響
- ✓ 自社株買い戻し

6.7 優先株の種類および主要な特徴

優先株の分類および特徴をカバーします。

- ✓ 配当金受取権
- ✓ 議決権
- ✓ 清算時の権利

6.8 優先株の特性

異なる種類の優先株への投資分析をカバーしています。

- ✓ リスクの源泉および潜在的リターン
- ✓ 優先株の取得および保有に関連する費用の影響

6.9 普通株式対優先株式の所有権

普通株式と優先株式の所有権間の区別を適用することを扱っています。

- ✓ 優先株式の所有者にとっての利点と欠点
- ✓ 優先株式の発行者にとっての利点と欠点

6.10 株式計算のための貨幣の時間価値

貨幣の時間価値を株式評価に適用することについて取り扱います。

- ✓ 割引キャッシュフロー・モデルおよびPEG（株価収益成長率）モデルを使用した株式証券の現在価値の計算

6.11 目論見書の要件と目的

全国規則第41-101号及び第45-106号に基づく目論見書の要件と適用除外についてカバーしています。

- ✓ 一次および二次配分への適用
- ✓ 買収への適用
- ✓ 包括的開示
- ✓ 広告およびマーケティング
- ✓ 適時開示要件
- ✓ 適用除外市場有価証券
- ✓ 私募
- ✓ 適格投資家

6.12 カナダ預託証券の種類および主な特徴

CDRおよびその所有者の権利をカバーしています。

- ✓ 所有者への権利
- ✓ CDR比率

6.13 企業活動が株主に与える影響

企業活動が株主のポジションに与える影響について説明します。

- ✓ 配当金の宣言方法、請求方法および税務処理
- ✓ 株式分割および統合の影響
- ✓ 自社株買い

6.14 普通株式対優先株式の所有権

普通株式と優先株式の所有権の違いを適用します。

- ✓ 優先株式所有者の利点および欠点
- ✓ 優先株式発行者の利点および欠点

CHAPTER 7

Element 4: Securities analysis

7.1 企業分析実施時の考慮要素

企業が良い投資対象であるかどうかを判断するための要素の分析について説明します。

- ✓ すべての関連文書および情報源
- ✓ 必要に応じて個人顧客に対する企業分析の明確な説明
- ✓ 内部および外部の主題専門家との協力および協議

7.2 財務諸表

企業の財務状態計算書の目的と内容をカバーします。

- ✓ 形式と含まれる項目およびそれらの分類方法
- ✓ 持分変動計算書の目的およびバランスシートと損益計算書との関係

7.3 包括利益計算書

包括利益計算書の目的と内容、および収益源を含めた内容をカバーします。

7.4 キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書の目的と内容について説明します。

- ✓ 営業活動によるキャッシュ・フロー
- ✓ 投資活動によるキャッシュ・フロー
- ✓ 財務活動によるキャッシュ・フロー

7.5 財務諸表に関するその他の要素

企業の財務諸表に関する追加的な要素をカバーしています。

- ✓ 財務諸表の注記
- ✓ 監査人の報告書

7.6 財務諸表比率分析

意味のある結果を提供するための基本的な財務諸表分析についてカバーしており、比率計算を含みます。

- ✓ 流動性比率（流動比率、当座比率、現金比率）
- ✓ リスク分析比率（負債比率、資産負債比率、利息保障倍数）
- ✓ 収益性比率（利益率、資産利益率、投資資本利益率）
- ✓ 効率性比率（固定資産回転率、在庫資産回転率、売掛金回転率、買掛金回転率、運転資本回転率）
- ✓ 株主資本比率（配当性向、内部留保率、1株当たり利益、1株当たり純資産価値、株主への自由キャッシュフロー）

7.7 投資価値のための財務諸表分析

当該投資に対応するための財務諸表分析をカバーしています。

- ✓ 価値比率（EPS、株価収益率、配当利回り、配当カバー率、配当性向、自己資本対普通株式）
- ✓ トレンド分析および外部比較の活用

7.8 取引所および規制当局からの情報

取引所および規制当局によって提供される株式および固定収益情報の種類と用途をカバーしています。

- ✓ 価格、取引量、利回りおよび時価総額
- ✓ 取引停止命令(CTO)を含む制限事項

7.9 市場指数の目的と用途

市場指数の目的、構成および用途について説明します。

- ✓ 指数値がどのように構成されるか
- ✓ 指数対平均対マルチファクター
- ✓ 時価加重対株価加重対同一加重
- ✓ 価格リターン対総リターン
- ✓ 資産クラス、セクター、国、国際

7.10 指数の利用

市場サマリーおよびベンチマークパフォーマンスに指数を適用することをカバーします。

- ✓ 市場サマリーの提供
- ✓ ベンチマークに対するパフォーマンスの計算

7.11 株式市場の行動評価方法

株式市場の行動を評価するために使用される方法の分析を扱います。

- ✓ 企業分析および情報の複数の情報源を使用することの重要性
- ✓ ファンダメンタル分析
- ✓ 定量分析
- ✓ テクニカル/統計分析
- ✓ 使用される可能性のある仮定および評価アプローチ

7.12 産業をセクターに分類する

産業がセクターにどのように分類されるか、および株式評価における解釈方法について説明します。

- ✓ 消費者製品
- ✓ 製造業
- ✓ サービス業
- ✓ 技術

7.13 証券価格に影響を与えるマクロ経済要因

マクロ経済要因を投資家の期待と市場変動に適用することについて扱います。

- ✓ 金利
- ✓ インフレーション
- ✓ 雇用
- ✓ 生産性

7.14 パフォーマンス期待に影響を与える要因

様々な時間軸にわたるパフォーマンス期待に影響を与えるその他の要因の分析をカバーしています。

- ✓ 資産クラス
- ✓ ボラティリティ
- ✓ 市場セクター
- ✓ 経済循環
- ✓ ベンチマーク

7.15 企業分析実施時の考慮要素

企業が良い投資対象であるかを判断するため、企業分析の要素を分析します。

- ✓ すべての関連文書および情報源
- ✓ 要求に応じて個人投資家向けに企業分析の明確な説明を提供
- ✓ 内部および外部の主題専門家との協力および相談

7.16 財務諸表の目的と内容

財務諸表の形式と分類をカバーしています。

- ✓ 形式、含まれる項目、およびそれらの分類方法
- ✓ 純資産変動計算書の目的と貸借対照表および損益計算書との関係

7.17 包括利益計算書の目的および内容

包括利益計算書および所得源をカバーしています。

7.18 キャッシュフロー計算書の目的および内容

キャッシュフロー計算書の構成要素をカバーします。

- ✓ 営業活動によるキャッシュフロー
- ✓ 投資活動によるキャッシュフロー
- ✓ 財務活動によるキャッシュフロー

7.19 企業財務諸表に関するその他の要素

財務諸表の補足的要素を扱います。

- ✓ 財務諸表に関する注記
- ✓ 監査人の報告書

7.20 企業の財務諸表分析

比率計算を含む、企業に関する有意義な回答を提供するために財務諸表を分析します。

- ✓ 流動性比率 – 流動比率、当座比率およびキャッシュ比率
- ✓ リスク分析比率 – 負債資本比率、負債資産比率、利息補償倍数
- ✓ 収益性比率 – 利益率、資産利益率、投資資本利益率
- ✓ 効率性比率 – 固定資産、在庫、売掛金、買掛金、運転資本回転率
- ✓ エクイティ比率 – 配当性向、留保率、1株当たり利益、1株当たり簿価、エクイティへの自由キャッシュフロー

7.21 投資に関する財務諸表分析

投資に関する対応を提供するために財務諸表を分析し、価値比率およびトレンドを含みます。

- ✓ 価値比率 – EPS、株価収益率、配当利回り、配当カバー、配当性向、株主資本対普通株式比率
- ✓ トrend分析および外部比較の活用

7.22 取引所および規制当局が提供する情報

取引所および規制当局から提供される株式および固定利付債の情報の種類と用途について取り扱います。

- ✓ 価格、出来高、利回り、および時価総額
- ✓ 取引停止命令（CTO）を含む制限

7.23 運用成果期待に影響を与えるその他の要因

様々な時間軸における成果に影響を与える要因を分析します。

- ✓ 資産クラス
- ✓ ボラティリティ
- ✓ 市場セクター
- ✓ 経済サイクル
- ✓ ベンチマーク

CHAPTER 8

Should I use a preparatory provider or self-study?

8.1 試験準備プロバイダー利用の長所と短所

ブループリントは、試験に合格するために優良な準備プロバイダーを利用することの利点と欠点を検討します。

- ✓ 長所：体系的な学習、専門家の指導、包括的なリソース、模擬試験、ピア・インタラクション、時間効率
- ✓ 短所：コスト、柔軟性の低さ、依存性

8.2 自主学習の長所と短所

青写真は、試験準備のアプローチとして、自主学習の長所と短所を比較検討しています。

- ✓ 長所：費用対効果が高い、柔軟性、個人化された学習、自立性、アクセス性
- ✓ 短所：自己規律が必要、時間がかかる、指導が限定的、学習の空白の可能性

8.3 優良な試験対策プロバイダーの利点

体系的な学習、専門家による指導、包括的なリソース、模擬試験、ピアインタラクション、時間効率を含む試験対策プロバイダーの利点。

- ✓ 軌道を外れないための体系的な学習
- ✓ 経験豊富な講師による専門家の指導
- ✓ 試験に合わせた包括的なリソース
- ✓ 実際の試験を反映する模擬試験
- ✓ スタディグループ、フォーラム、またはクラスを通じたピアインタラクション
- ✓ 学習組織における時間効率

8.4 試験準備提供者の利用の欠点

コスト、柔軟性の低さ、および潜在的な依存性を含む試験準備提供者の欠点

- ✓ コストが相当な場合がある
- ✓ 設定されたスケジュールによる柔軟性の低さ
- ✓ 依存性が独立した学習スキルを制限する可能性がある

8.5 自己学習の利点

コスト効率性、柔軟性、個別化された学習、自己信頼性、およびアクセス可能な公共リソースを含む自己学習の利点

- ✓ 無料または低コストのリソースを使用してコスト効率的
- ✓ 自分のペースで学習する柔軟性
- ✓ 弱点に焦点を当てた個別化された学習
- ✓ 自己信頼性と批判的思考
- ✓ 試験に出題されるすべてのリソースは公開アクセス可能

8.6 自己学習の欠点

自己学習の欠点には、必要な自己規律、時間の需要、限定された指導、および潜在的なカバレッジの欠落が含まれます。

- ✓ 自己規律とモチベーションが必須
- ✓ 教材の収集と計画に時間がかかる
- ✓ 複雑な概念に対する限定的な専門家の指導
- ✓ 体系的な計画がない場合の潜在的な学習範囲の欠落

CHAPTER 9

Where can I get additional support to study for the Retail Securities Exam?

9.1 CIRO投資ディーラー及び部分統合 (IDPC) 規則

試験内容の一部は、投資ディーラーを規制するCIRO規則と直接関連しており、設計図は、受験者が習熟すべき特定のIDPC規則セクションを明示しています。

- ✓ 規則1100 – 解釈
- ✓ 規則1200 – 定義
- ✓ 規則1400 – 行為基準
- ✓ 規則2600 – 適格性要件及び適格性の免除
- ✓ 規則2700 – 承認された者の継続教育要件
- ✓ 規則3000 – 事業行為及び顧客口座規則
- ✓ 規則5100 – 証拠金要件 – 適用及び定義
- ✓ 規則7100 – 債務市場

9.2 ユニバーサル・マーケット・インテグリティ・ルールズ(UMIR)

本青写真は、受験者が特に熟知すべきCIROが提供するユニバーサル・マーケット・インテグリティ・ルールズの特典部分を特定しています。

- ✓ パート2 – 不正な取引
- ✓ パート4 – フロントランニング
- ✓ パート5 – 最良執行義務
- ✓ パート7 – 市場での取引
- ✓ パート10 – ゲートキーパー義務

9.3 投資ディーラー及び部分統合(IDPC)規則

試験内容の一部は、投資ディーラーを管理するCRO規則に直接関連し、受験者は指定されたIDPC規則条項について熟知することが期待されます。

- ✓ 規則1100 – 解釈
- ✓ 規則1200 – 定義
- ✓ 規則1400 – 行為基準
- ✓ 規則2600 – 専門性要件及び専門性免除
- ✓ 規則2700 – 認定人員の継続教育要件
- ✓ 規則3000 – 事業行為及び顧客口座規則
- ✓ 規則5100 – 証拠金要件 – 適用及び定義
- ✓ 規則7100 – 債務市場

9.4 資金洗浄防止法令 (PCMLTFA)

試験は、犯罪収益(資金洗浄)およびテロ資金供与法とその規則の目的、一般的要件、および違反の影響をカバーしています。これはFINTRACサイトに記録されています。

- ✓ 目的、一般的要件、および違反の影響に焦点を当てる
- ✓ PCMLTF規則

9.5 CSAの National Instruments

ブループリントノートでは、Canadian Securities Administrators ウェブサイトに掲載されている特定の National Instruments がシラバスで参照されていることを記載しています。

- ✓ NI 41-101 General Prospectus Requirements (一般目論見書要件)
- ✓ NI 45-106 Prospectus Exemptions (目論見書適用除外)

9.6 IFRSに基づく会計用語

具体的な会計規制は試験の対象ではありませんが、試験の出題範囲では国際財務報告基準(IFRS)に基づく会計用語の理解が必要であると明記されています。

9.7 政府および規制機関のリソース

ブループリントは、カナダの投資業界を統治する規制環境および法律を理解するために関連のある、政府および規制機関のリソースを列挙しています。

- ✓ カナダ政府 (Canada.ca)
- ✓ 金融機関監督庁 (OSFI)
- ✓ カナダ証券管理者協議会 (CSA)
- ✓ カナダ金融消費者庁 (FCAC)
- ✓ カナダ銀行
- ✓ カナダ投資規制機構 (CIRO)

9.8 PCMLTFA及びPCMLTF規則

試験は、FINTRACウェブサイトに記録されている資金洗浄防止及びテロ資金供与防止立法の目的、一般要件及び違反の影響を扱います。

- ✓ 犯罪収益（資金洗浄）及びテロ資金供与防止法（PCMLTFA）
- ✓ PCMLF規則
- ✓ FINTRACウェブサイトに記録されている

9.9 IFRS会計用語

具体的な会計規制は試験対象外ですが、国際財務報告基準(IFRS)に基づく会計用語の理解が必要です。

- ✓ IFRSに基づく会計用語の理解が必要である
- ✓ 具体的な会計規制は試験対象外である

CHAPTER 10

Element 5: Managed products and other investments

10.1 運用商品の種類

利用可能なさまざまな運用商品の種類をカバーします。

- ✓ ミューチュアルファンド・トラスト
- ✓ ミューチュアルファンド・コーポレーション
- ✓ インカム・トラスト
- ✓ クローズドエンド・ファンド
- ✓ 不動産投資信託(REIT)
- ✓ 上場投資信託(ETF)
- ✓ ラップファンド/ファンド・オブ・ファンド/ETFラップ
- ✓ プールド・ファンド

10.2 管理型商品の投資家向け考慮事項

管理型商品の投資家に影響を与える主な考慮事項の分析を対象としています。

- ✓ 利用可能なエクスポージャーの範囲（インカムおよび成長、資産クラス、セクター、地域、倫理およびESG、分散/集中）
- ✓ 管理型商品の利点と欠点

10.3 ミューチュアルファンドの主な特徴

ミューチュアルファンドの主な特徴について説明します。

- ✓ カナダにおけるミューチュアルファンドへのアクセス
- ✓ 構造（信託対法人）
- ✓ 参加者 – 受託者、運用会社、販売会社、保管機関
- ✓ 手数料体系
- ✓ 日次価格設定

10.4 投資信託投資家のための考慮事項

投資信託投資家に影響を与える主要な考慮事項の分析を扱います。

- ✓ 投資家にとっての利点と欠点
- ✓ 提供者にとっての利点と欠点
- ✓ リスクの原因および潜在的リターン、リスク格付け手法を含む

10.5 ETF投資家のための考慮事項

ETF投資家に影響を与える主要な考慮事項の分析をカバーしています。

- ✓ ETFへのアクセス
- ✓ 設定
- ✓ 価格設定：市場価格対純資産価値（NAV）
- ✓ ETF運用スタイル
- ✓ レバレッジの使用
- ✓ ETFとミューチュアルファンドの長所と短所
- ✓ コスト構造

10.6 ファンド運用スタイル

ファンド運用スタイルの特徴と目的をカバーしています。

- ✓ アクティブおよびパッシブ運用
- ✓ スマートベータ/ファクター投資
- ✓ レバレッジ・ファンド
- ✓ インバース・ファンド

10.7 運用商品の情報源

ファンドファクトシートおよびETFファクトシートを含む、運用商品の情報源をカバーします。

10.8 ファンドの運用成果評価基準

ファンドの運用成果を評価するための一般的な基準を扱います。

- ✓ リターンの測定（保有期間、金銭加重収益率、時間加重収益率）
- ✓ リターンの比較（ベンチマーク、ピアグループ）

10.9 管理型ファンドの評価方法

NAVPS を含む管理型ファンドの評価方法の適用と計算をカバーしています。

- ✓ NAVPS を含むミューチュアルファンド単位または株式の価格設定
- ✓ ファンドパフォーマンスの測定と比較
- ✓ 標準的なパフォーマンスデータと総収益率
- ✓ 事前に指定され、適切で、測定可能で、明確で、反映的で、説明責任のある、投資可能なベンチマークの使用と比較

10.10 運用商品にかかるコストの影響

運用商品のパフォーマンスに対するコストの影響について取り扱います。

- ✓ ロードおよび手数料
- ✓ 回転率
- ✓ 税金 (ファンドに対する税金、投資家に対する税金、源泉徴収税、回収可能、回収不可能)
- ✓ 費用率の評価 (管理費用率、取引費用率)

10.11 償還の影響

償還の影響に関する分析をカバーしています。

- ✓ 税務上の影響 (T-swaps)
- ✓ 出金計画
- ✓ 償還の中止 - ゲーティング

10.12 ファンドと非ファンド商品の選択

ファンド商品と非ファンド商品の間で選択する際に検討すべき要素をカバーしています。

- ✓ 投資家の決定
- ✓ 登録担当者の推奨

10.13 オルタナティブ戦略ファンドとオルタナティブ資産

オルタナティブ戦略ファンドとオルタナティブ資産の種類について説明します。

- ✓ ヘッジファンド
- ✓ 仕組み商品
- ✓ オルタナティブ投資ファンド
- ✓ 暗号資産
- ✓ プライベートエクイティ
- ✓ ベンチャーキャピタル

10.14 オルタナティブ戦略ファンドの特性

オルタナティブ戦略ファンドおよび他の投資タイプの分析をカバーしています。

- ✓ 構造
- ✓ 特性
- ✓ 手数料：運用手数料、パフォーマンス手数料、ハードルレート
- ✓ 投資家およびプロバイダーに対する利点と欠点
- ✓ リスクの源泉および潜在的リターン
- ✓ 他の投資の取得および保有に関連する費用の影響
- ✓ 認定投資家（Accredited Investor）要件

10.15 運用商品の投資家に影響を与える考慮事項

運用商品の投資家に影響を与える考慮事項を分析します。

- ✓ 利用可能なエクスポージャーの範囲 – インカムおよび成長、資産クラス、セクター、地域、倫理およびESG、分散/集中
- ✓ 運用商品の利点および欠点

10.16 投資信託投資家に影響を与える考慮事項

投資信託投資家に影響を与える考慮事項を分析します。

- ✓ 投資家にとっての利点および欠点
- ✓ 提供者にとっての利点および欠点
- ✓ リスクの源泉および潜在的リターン(リスク順位付け手法を含む)

10.17 ETF投資家に影響を与える考慮事項

ETF投資家に影響を与える考慮事項を分析します。

- ✓ ETFへのアクセス
- ✓ 設定
- ✓ 価格設定：市場価格対純資産価値（NAV）
- ✓ ETF運用スタイル
- ✓ レバレッジの利用
- ✓ ミューチュアルファンドに対するETFの利点と欠点
- ✓ 費用構造

10.18 ファンド運用スタイルの特徴と目的

様々なファンド運用スタイルとその目的についてカバーします。

- ✓ アクティブおよびパッシブ運用
- ✓ スマートベータ/ファクター投資
- ✓ レバレッジファンド
- ✓ インバースファンド

10.19 ファンドのパフォーマンス評価基準

ファンドのパフォーマンスを評価するための一般的な基準をカバーしています。

- ✓ リターンの測定 – 保有期間、金銭加重収益率、時間加重収益率
- ✓ リターンの比較 – ベンチマーク、ピア・グループ

10.20 運用商品のパフォーマンスに対するコストの影響

コストが運用商品のパフォーマンスにどのように影響するかについて説明します。

- ✓ 負荷および手数料
- ✓ ポートフォリオ回転率
- ✓ 税金 – ファンドに対する税金、投資家に対する税金、源泉徴収税（還付可能および還付不可能）
- ✓ 費用比率の評価 – 管理費用比率、取引費用比率

10.21 オルタナティブ戦略ファンドと資産の種類

オルタナティブ戦略ファンドとオルタナティブ資産をカバーしています。

- ✓ ヘッジファンド
- ✓ 仕組商品
- ✓ オルタナティブ投資ファンド
- ✓ 暗号資産
- ✓ プライベートエクイティ
- ✓ ベンチャーキャピタル

CHAPTER 11

Element 6: Portfolio construction

11.1 資産配分意思決定プロセス

ポートフォリオ構築における資産配分のプロセスと原則をカバーします。

- ✓ ポートフォリオ構築の原則
- ✓ 資産配分のカテゴリ、プロセスおよび重要性
- ✓ 資産配分のタイプおよび主要な側面（戦術的、戦略的、リバランシング）
- ✓ 資産ミックスカテゴリおよび資産ミックス設定戦略
- ✓ 異なる銘柄選択技法の利点
- ✓ リバランシング戦略の利点
- ✓ 実装およびリバランシングのコスト（スプレッド、手数料、時間）

11.2 リスクの種類

ポートフォリオに影響を与えるさまざまなリスクの種類をカバーしています。

- ✓ 金利リスク
- ✓ インフレリスク
- ✓ 流動性リスク
- ✓ 資本リスク
- ✓ インカムリスク
- ✓ 発行人リスク
- ✓ 金融犯罪リスク

11.3 リスク測定

資産またはポートフォリオに関するさまざまなリスク測定が示すものをカバーします。

- ✓ 標準偏差および分散
- ✓ ベータ
- ✓ マルチファクター
- ✓ ドローダウン

11.4 リスク管理プロセス - リスクとリターン

リスクとリターンに対処するためのリスク管理プロセスの適用をカバーしています。

- ✓ 資産選択におけるリスクの役割
- ✓ ヘッジング及び分散投資
- ✓ ポートフォリオの期待リターンとリスクに影響を与える要因

11.5 空売りのリスク管理

空売りにリスク管理プロセスを適用することをカバーしています。

- ✓ 空売りプロセスと関連するリスク
- ✓ ロングポジションとショートポジションの証拠金要件

11.6 ポートフォリオ推奨事項の概念

ポートフォリオ推奨事項の基礎となる概念を扱います。

- ✓ 現代ポートフォリオ理論/平均・分散理論
- ✓ 効率的分散投資、素朴な分散投資および業界または発行者集中
- ✓ ブラック・リッターマンモデル
- ✓ モンテカルロシミュレーション

11.7 資産価格モデル

資産価格モデルの目的、利点および欠点について説明します。

- ✓ 資本資産価格設定モデル(CAPM)
- ✓ 裁定価格理論
- ✓ マルチファクターモデル(ファーマ-フレンチ5ファクター、ファーマ-フレンチ5ファクター+モメンタム、カハート4ファクター)

11.8 資本資産価格モデル(CAPM)の適用

ポートフォリオまたは資産の期待リターンとリスクを計算するためにCAPMを適用する方法をカバーしています。

11.9 効率的市場仮説の含意

効率的市場仮説がポートフォリオ管理に与える影響について説明します。

11.10 株式運用マネージャーのためのアクティブポートフォリオ運用

株式運用マネージャーのためのアクティブポートフォリオ運用手法の分析をカバーしています。

- ✓ トップダウン対ボトムアップ
- ✓ セクターローテーション
- ✓ グロース投資
- ✓ バリューストック投資
- ✓ マーケットタイミング

11.11 株式ポートフォリオマネージャーのためのパッシブポートフォリオ管理

株式ポートフォリオマネージャーのためのパッシブポートフォリオ管理手法の分析を扱います。

- ✓ 買い持ち戦略
- ✓ トラッキング/インデックス投資

11.12 固定利付ポートフォリオ管理技法

パッシブおよびアクティブな固定利付ポートフォリオ管理技法を扱います。

- ✓ パッシブ買い持ち
- ✓ インデックス・マッチング
- ✓ 免疫化
- ✓ デュレーション管理
- ✓ ボンド・スワップ
- ✓ セクター・ローテーション

11.13 空売りのリスク管理プロセス

空売りにリスク管理方法を適用します。

- ✓ 空売りのプロセスおよび関連するリスク
- ✓ ロングポジションおよびショートポジションのマージン要件

11.14 資産価格決定モデルの目的および長所と短所

資産価格決定モデルの長所と短所をカバーします。

- ✓ 資本資産価格決定モデル（CAPM）
- ✓ 裁定価格付け理論（APT）
- ✓ 多要因モデル – ファーマ・フレンチ5ファクター・モデル、ファーマ・フレンチ5ファクター・モデル+モメンタム、カハート4ファクター・モデル

11.15 効率的市場仮説の含意

ポートフォリオ管理に対する効率的市場仮説（EMH）の含意をカバーしています。

11.16 株式ポートフォリオのアクティブ運用手法

アクティブな株式ポートフォリオ管理手法を分析します。

- ✓ トップダウン対ボトムアップ
- ✓ セクターローテーション
- ✓ グロース投資
- ✓ バリューストック投資
- ✓ マーケットタイミング

11.17 株式パッシブポートフォリオ管理技法

パッシブ型株式ポートフォリオ管理技法を分析します。

- ✓ 買い持ち戦略
- ✓ トラッキング/インデックス化

CHAPTER 12

Academic or topical learning programs

12.1 シラバスに関連する主題別プログラム領域

ブループリントは、シラバスの特定の部分に関連する大学および大学を通じて提供されるアカデミックまたは主題別プログラムコンテンツの例を識別します。

- ✓ 金融市場 – 構成要素、主要活動および資産クラス
- ✓ ポートフォリオ管理 – ポートフォリオまたは資産管理
- ✓ ファンド管理 – 投資ファンドおよび管理型ポートフォリオ商品

12.2 金融市場プログラム

金融市場内の構成要素、主要活動および資産クラスを紹介するプログラムであり、シラバスの特定部分に関連している。

- ✓ 金融市場内の構成要素、主要活動および資産クラスへの紹介

12.3 ポートフォリオ管理プログラム

関連するトピック学習コンテンツとして、ポートフォリオまたは資産管理に関連するプログラムです。

- ✓ ポートフォリオまたは資産管理に関連するプログラム

12.4 ファンド管理プログラム

投資ファンドおよび他の管理型ポートフォリオ商品を説明するプログラム。

- ✓ 投資ファンドおよび他の管理型ポートフォリオ商品を説明するプログラム

CHAPTER 13

Element 7: Investment recommendations

13.1 目的、リスク・プロファイルおよびパフォーマンスの関係

顧客の目的、ニーズ、リスク・プロファイルおよびパフォーマンス間の関係の分析を扱います。

13.2 投資選択に対する非金銭的制約

顧客が自身の選択に非金銭的制約を適用することの影響分析をカバーしています。

- ✓ 公正性、多様性および包括性に関する考慮
- ✓ 環境、社会およびガバナンス(ESG)基準
- ✓ その他の個人的嗜好

13.3 行動ファイナンスの原則

行動ファイナンスの原則とそれが顧客の意思決定および収益に与える影響について扱います。

- ✓ 認知的エラー（代表性、統制の幻想、確認バイアス、後知恵）
- ✓ 情報処理バイアス（フレーミング、アンカリング、メンタルアカウンティング、利用可能性）
- ✓ 感情的バイアス（損失回避、過度な自信、エンダウメント効果）
- ✓ 資本市場バイアス（サバイバーシップバイアス、ギャンブラーの誤謬、群集行動、ホームカントリーバイアス）

13.4 推奨状況における小売顧客の適合性判断

推奨状況に適合性判断要件を適用する方法をカバーしています。

- ✓ 適切な商品の選択
- ✓ 投資ディーラーの商品ポートフォリオの影響
- ✓ 顧客の純資産と流動性ニーズ
- ✓ 現金管理計画と貯蓄戦略
- ✓ 政府年金プログラムの特徴

13.5 KYC情報に基づくポートフォリオの選択

KYC情報に基づいてポートフォリオを選択するプロセスの適用について説明します。

- ✓ クライアントの投資ニーズ、目標およびリスク プロファイル
- ✓ 現在の投資ポートフォリオ構成、リスク水準および潜在的な不足分
- ✓ 関連する投資管理戦略
- ✓ 期待とリスク プロファイル間の矛盾を解決するためのソリューション
- ✓ キャッシュフロー分析の利点

13.6 顧客の投資行為への対応

顧客の投資行為に関連する要素を適用することをカバーしています。

- ✓ 顧客のKYC情報の重大な変更の影響
- ✓ 投資行為の予期しない影響 (集中度、流動性)
- ✓ リターンに対するコストの潜在的および実際の影響
- ✓ 合理的な代替行為の範囲の検討

13.7 推奨プロセスの主要要件

投資行動推奨プロセスの主要要件の分析をカバーします。

- ✓ 各商品および推奨行動の長所と短所
- ✓ 各商品および推奨行動に関連するリスク
- ✓ 推奨行動がクライアントのために達成できること
- ✓ クライアントのコミットメントを確保するためのプロセス

13.8 財務目標設定におけるお金の時間価値

お金の時間価値をクライアントの財務目標設定に適用することをカバーしています。

- ✓ 既知の将来目標／負債を達成するために必要な定期投資
- ✓ 単一投資からの定期的な将来収入（年金の現在価値）

13.9 個人および法人税計画

個人および法人税計画の基礎を勧告に適用することをカバーしています。

- ✓ 税計画戦略およびその利点
- ✓ 税制優遇口座（FHSA、RRSP、RESP、TFSA）
- ✓ 税負担最小化戦略（控除/税額控除、所得分散、税損失ハーベスティング）
- ✓ 法人（活動所得対受動所得、統合、名目口座CDA/RDTOH/GRIP）

13.10 カナダのキャピタルゲイン税制度

投資利益に対するカナダのキャピタルゲイン税制度の基本原則を適用することを扱います。

- ✓ キャピタルゲインおよびキャピタルロスの計算
- ✓ 利益および損失の税務処理
- ✓ キャピタルゲイン税の納税義務を最小化する戦略

13.11 カナダ所得税制度

投資所得に対するカナダ所得税制度の基本を適用することについて説明します。

- ✓ 納付所得税の計算
- ✓ 利息の税務処理
- ✓ 配当金の税務処理（適格配当金、非適格配当金、外国配当金）

13.12 苦情処理要件

苦情処理を規制する規制要件の適用をカバーしています。

- ✓ 認識
- ✓ プロセス
- ✓ 解決
- ✓ 報告
- ✓ 禁止慣行

13.13 顧客目標、リスク、パフォーマンス間の関係

顧客の目標、ニーズ、リスク・プロフィール、およびパフォーマンス間の関係を分析します。

13.14 投資選択に対する非金銭的制約の影響

顧客が課す非金銭的制約が投資選択に与える影響を分析します。

- ✓ 公正性、多様性およびインクルージョンの考慮事項
- ✓ 環境、社会およびガバナンス基準
- ✓ その他の個人的選好

13.15 顧客の投資行動に対処する際の要因

顧客の投資行動に関連する適切な要因を適用します。

- ✓ 顧客のKYC情報に対する重大な変更の影響
- ✓ 投資行動の予期しない影響 — 集中度、流動性
- ✓ コストがリターンに及ぼす潜在的および実際の影響
- ✓ 合理的な代替行動の範囲の検討

13.16 投資所得に対するカナダ所得税制度

顧客の投資所得に基本的な所得税を適用します。

- ✓ 納付すべき所得税の計算
- ✓ 利子の税務上の取扱い
- ✓ 配当金の税務上の取扱い – 適格配当、非適格配当、外国配当

13.17 苦情処理を規制する規制要件

特定の状況に苦情処理要件を適用します。

- ✓ 認識
- ✓ プロセス
- ✓ 解決
- ✓ 報告
- ✓ 禁止事項

CHAPTER 14

Element 8: Execution and market integrity

14.1 UMIR不正取引要件

最良執行および不正取引に関するUMIR要件の適用について説明します。

- ✓ 最良執行
- ✓ 不正取引（特定の許容されない活動、操作的および詐欺的慣行、人為的価格設定、不適切な注文および取引）
- ✓ 前走り取引

14.2 UMIRゲートキーピング責任

UMIRゲートキーピングに対する規制要件の適用をカバーしています。

- ✓ UMIRゲートキーピング義務の目的
- ✓ 疑わしい取引を特定するための顧客の典型的な金融活動とパターン
- ✓ 疑わしい取引の特定およびエスカレーション方法
- ✓ 可能なインサイダー取引活動および違反
- ✓ 内部告発者に関する適用可能な規制枠組み
- ✓ 企業および規制当局への適用可能な報告義務

14.3 注文タイプ

さまざまな注文タイプの特徴をクライアントの要件に適用することについて説明しています。

- ✓ 指値注文
- ✓ 成行注文
- ✓ 即座執行またはキャンセル
- ✓ 全て執行またはキャンセル
- ✓ 逆指値注文
- ✓ アイスバーグ注文
- ✓ 空売り

14.4 取引執行および決済プロセス

取引執行および決済プロセスの様々な側面を顧客の要件に適用することをカバーしています。

- ✓ 様々な市場への認識
- ✓ 注文発注、注文エラーおよび変更の処理を含む
- ✓ 決済および納入プロセス
- ✓ 外国為替取引および通貨換算
- ✓ 現金口座ルールの目的および適用
- ✓ 期限超過した現金口座に対する制限プロセス

14.5 ロングおよびショートマージン口座

ロングおよびショートマージン口座の使用をカバーしています。

- ✓ 特別なマージン状況
- ✓ 専門的な取引認可の必要性

14.6 顧客への報告要件

注文および確認に関する顧客への報告要件について説明しています。

- ✓ 手数料およびコミッションを含む顧客との注文確認要件
- ✓ 取引確認および口座明細書に対する投資ディーラーの責任

14.7 UMIRの理解

執行と不正取引を扱うUMIR規定を状況に適用します。

- ✓ 最良の実行
- ✓ 不正取引 – 特定の許可されない行為、操作的および詐欺的慣行、人為的価格設定、不適切な注文および取引
- ✓ フロントランニング

14.8 異なる注文タイプの特徴

異なる注文タイプの特徴を顧客の要件に適用します。

- ✓ 指値注文
- ✓ 成行注文
- ✓ 即座キャンセル
- ✓ Fill or Kill
- ✓ 逆指値注文
- ✓ アイスバーグ注文
- ✓ 空売り

14.9 ロングおよびショートマージン口座の使用

ロングおよびショートマージン口座の使用と特殊な状況をカバーしています。

- ✓ 特殊なマージン状況
- ✓ 専門的な取引認可の必要性

CHAPTER 15

Element 9: Monitoring, reporting and maintaining client relationships

15.1 ポートフォリオパフォーマンスの監視と評価

ポートフォリオパフォーマンスを監視および評価するプロセスの適用をカバーします。

- ✓ 市場と経済
- ✓ 顧客のニーズと状況

15.2 投資パフォーマンス開示および測定

投資パフォーマンス開示および測定プロセスの適用をカバーします。

- ✓ パフォーマンスの測定方法
- ✓ 比較パフォーマンスの決定方法
- ✓ 多要因回帰分析の使用
- ✓ ポートフォリオパフォーマンス評価におけるベンチマークの適切な使用
- ✓ 取引コストおよび推奨事項の税務上の影響
- ✓ 手数料および費用とクライアント収益への影響

15.3 投資パフォーマンス計算

有価証券またはポートフォリオの投資パフォーマンス計算の分析を対象としています。

- ✓ 収益率
- ✓ 絶対リスク/標準偏差
- ✓ リスク調整後リターン(シャープ、トレイナー、ジェンセン)
- ✓ ベンチマーク対比パフォーマンス
- ✓ 多因子回帰分析

15.4 CIRO通信要件

顧客および一般大衆との通信においてCIRO要件を適用することについて説明します。

- ✓ 義務およびベストプラクティスの認識
- ✓ 専門的肩書きの適切な使用
- ✓ 誤解を招く通信
- ✓ ソーシャルメディアおよび他の通信に関する制限事項およびガイドライン
- ✓ オフチャネル通信の問題

15.5 顧客記録維持要件

すべての顧客回答/記録維持要件の適用について取り扱います。

- ✓ 口座適切性
- ✓ 適合性判定
- ✓ 顧客識別(KYC)
- ✓ 商品識別(KYP)
- ✓ 利益相反
- ✓ 販売慣行
- ✓ 報酬契約
- ✓ インセンティブ慣行およびその他の報酬契約
- ✓ 投資ディーラーまたは登録代理人に利益をもたらす可能性があるインセンティブ慣行

15.6 クライアント/一般向けコミュニケーションに関するCIRO要件

様々な状況にCIROのコミュニケーション要件を適用します。

- ✓ 義務および最良慣行に対する認識
- ✓ 専門職の肩書きの適切な使用
- ✓ 誤解を招くコミュニケーション
- ✓ ソーシャルメディアおよびその他のコミュニケーション手段に関する制限およびガイドライン
- ✓ チャネル外コミュニケーションの問題